

中国 香港特別行政区 UWC 香港校 丸山 さん

留学期間 H28.9.4～H30.5.31

1 留学の成果

2 年間の留学生活において学んだこと、得たものは書き切れないほどあるが、大きく分ければ3 つだと思う。

まず、最初に、この留学でしか得られなかった「経験」だ。多文化を共有しあえる機会だった Cultural Evening などのイベントは LPC (ユナイテッド・ワールド・カレッジ香港校)だからこそできた経験だと思う。また、世界中から集まった仲間たちとは、流行の音楽のことから政治のことまで何でも語りつくした。日本の高校にいたときには、政治の話などは「堅苦しい」話題だったかもしれない。しかし、LPC では友達の母国での状況などを聞け、興味深く「面白い」話題だった。

次に、学んだことの2 つめは「考え方」だ。これはマインド・セット（心持ち）とも言えるかもしれない。毎回、学校全体で集まりディスカッションをした Global Issue Forum ではそれぞれの生徒の多様な意見を聴き、自分では思いもつかないような考え方に出会った。また IB（国際バカロレア）の学習では、ひとつの問題について様々な視点から考え、その問題が与える影響を方面や大きさごとに分けて考える方法を身につけた。プロジェクトウィークや CAS（奉仕活動やアクティビティ、クリエイティビティのクラブ活動）を通して自分自身に挑戦することがどれだけ自分を成長させ、他人にも影響を与えるかを学んだ。

そして、私がこの留学で得たものの最後の1 つは「人」である。留学生活において LPC で過ごした人たちは皆、個性や才能あふれる人たちで、いつも私は彼らから影響を受けて成長できていた。この留学生活が終わっても、彼らと過ごした LPC での思い出、また彼ら自身が私を後押ししてくれるだろう。卒業したあとも、私たちのつながりは続いており、インターネットを使って私たちは常に自分たちが今何をしているかを発信し続けている。LPC での経験が新しいアイデアを生むかもしれないし、私たちが再び一緒になってプロジェクトをするような、そんな未来もあるかもしれない。LPC での生活は終わってしまった。しかし、私は確かに新しい旅路が始まっているのだと感ずることが出来る。一緒に2 年間で LPC で過ごした仲間がこの世界のどこかで新しい挑戦をしていると知っている。彼らが新しい道を選び進んでいるように、私だって好きな道を選べるし、何なら新しい道を作ったっていい。何度迷ったとしても、彼らの存在が私を後押ししてくれ、私はまた歩み始めることができるのだから。



2 履修状況、課外活動等

(1) 履修科目

Japanese A self-taught(Standard Level)、 English B: (Higher Level)
Biology(Standard Level) 、 Economics(Higher Level)、 Math(Higher Level)
Visual Arts(Standard Level)、 Theory of knowledge

(2) 課外活動および受賞歴等

Sino-Japan Youth Conference（日中青年会議、クラブ活動）
Lion Dance（クラブ活動、Cooking For Healthy Life（クラブ活動）
Swimming QC（クラブ活動）、Café（クラブ活動）

3 今後の活動予定

卒業後1年間 Gap Year を取り、新しい言語を学ぶなど様々な活動をする予定。大学進学までの1年間という長い期間を生かして経験の幅を広げることを目標としている。その後は、リベラルアーツまたは美術系の大学進学を予定している。

4 記録写真



【2年生のアートエキシビジョン】

ビジュアル・アーツの最終試験として、学校内でエキシビジョンを行った。私たち生徒は、2年間で制作した作品のうちいくつかを選び、それらを自ら配置し、説明文も設置した。エキシビジョンには、生徒や教員また学校外の人々も来客として集まり、私たちは彼らに自分の作品の趣旨の説明を行った。また、このエキシビジョンの作品のうちいくつかはオークションに出展され、売り上げは生徒の奨学金に貢献された。私の作品もいくつか購入された。

【日中青年会議デイキャンプでのプレゼンテーション】

UWC 香港校で行われた香港の生徒向けのデイキャンプで、セッションのプレゼンテーション、またファシリテーターをしたときの様子。



【プロジェクトウィーク Verbatim Theater】



【友達と学校から近い山へハイキングに行った時の様子】

